

東海情報通信懇談会活動ビジョン(骨子概要)

1.「もの・こと」づくり

指針① 産業の省力・軽労化の推進

指針② 地元企業等活動への支援

指針③ 研究開発やイノベーションの推進

2.「まち」づくり

指針① スマートな街づくりの推進

指針② 訪日外国人にやさしい街づくりの推進

指針③ 災害に強い街づくりの推進

ICTを利活用して東海地域の「ものづくり・ことづくり」、「まちづくり」、「ひとづくり」に貢献し、さらに「会員へのインセンティブ向上」に資するため、12の指針により活動を行う。

⇒セミナー、勉強会、講座、視察会、連携支援事業等の充実

3.「ひと」づくり

指針① 企業等のICT利活用のための人材

指針② 働き方改革に対応した社会への適応のための人材

指針③ サイバーセキュリティの確保を担う人材

4.「会員へのインセンティブ向上」

指針① 会員の気づき及び交流の場の提供のための活動の充実

指針② 会員の自発的な活動への支援

指針③ 国、自治体及び団体等との連携

【活動ビジョンは、懇談会活動の方向性を明確化し、懇談会活動の指針とするもの】

東海情報通信懇談会活動ビジョン（骨子）

本活動ビジョンは、懇談会活動の方向性を明確化し、懇談会活動の指針とするものである。

1 東海地域における課題

- (1) 少子・高齢化、人口減少による労働力不足、過疎化の進展への対応
- (2) 自動車や航空宇宙など産業を支える地元企業等活動への支援
- (3) 産業基盤を支えるイノベーション等の推進
- (4) 東京一極集中による地域間格差の拡大や市街地中心部の空洞化への対応
- (5) 観光振興や労働力不足に伴う訪日外国人の観光客や就労者の受入環境の構築
- (6) 南海トラフ巨大地震などの大規模災害への備え
- (7) 産業を支える企業等の知識、ノウハウの向上
- (8) 労働人口減少による働き方改革に対応した社会への適応
- (9) サイバーセキュリティ脅威への対応

2 社会の変化に対応した活動

東海地域の諸課題に対応するため「ものづくり・ことづくり」、「まちづくり」、「ひとづくり」、「会員へのインセンティブ向上」の4つを懇談会活動の柱とする。

<対応すべき課題と4つの柱>

- (1) 産業振興に資する「ものづくり・ことづくり」
 - ① 労働力不足、過疎化の進展への対応
 - ② 地元企業等活動への支援
 - ③ イノベーション等の推進
- (2) 地方創生に資する「まちづくり」
 - ① 地域間格差の拡大や市街地中心部の空洞化への対応
 - ② 訪日外国人の観光客や就労者の受入環境の構築
 - ③ 大規模災害への備え
- (3) 産業や地域を支える「ひとづくり」
 - ① 企業等の知識、ノウハウの向上
 - ② 働き方改革に対応した社会への適応
 - ③ サイバーセキュリティ脅威への対応
- (4) 会員へのインセンティブ向上
 - ① 会員の気づき及び交流の場の提供のための活動の充実
 - ② 会員の自発的な活動への支援
 - ③ 国、自治体及び団体等との連携

3 活動指針

ICT を利活用して東海地域の「ものづくり・ことづくり」、「まちづくり」、「ひとづくり」に貢献し、さらに「会員へのインセンティブ向上」に資するため、12 の指針により活動を行う。

(1) 産業振興に資する「ものづくり・ことづくり」

指針①；人口減少に対応した産業の省力・軽労化の推進

IoT、ビッグデータ、AI を核とした ICT を利活用して地場産業の課題解決、サービス創出など生産効率の向上に取り組む。

⇒セミナー、勉強会、視察研修会、連携支援事業の充実

指針②：ものづくり・ことづくり産業を支える地元企業等活動への支援

地元企業やベンチャー企業が ICT/IoT を利活用して技術・サービス開発する活動を支援するため企業との連携に取り組む。

⇒連携支援事業の充実

指針③：産業基盤を支える研究開発やイノベーションの推進

ものづくり・ことづくり基盤を支える ICT/IoT 分野の研究開発を推進、生産性向上等のイノベーションの強化に取り組む。

⇒セミナー、勉強会、連携支援事業の継続

(2) 地方創生に資する「まちづくり」

指針①：少子高齢社会に対応したスマートな街づくりの推進

IoT、ビッグデータ、AI を核とした ICT を利活用して人々が安心・安全に暮らせるよう、若者や高齢者が住みやすく働きやすいスマートな街づくりの実現に向け取り組む。

⇒セミナー、勉強会、視察研修会、連携支援事業の充実

指針②：観光・産業を支える訪日外国人にやさしい街づくりの推進

ICT を利活用したおもてなし力の向上、住みやすい環境の構築により、訪日外国人が観光・就労しやすい街づくりの実現に向け取り組む。

⇒セミナー、勉強会、連携支援事業の充実

指針③：大規模地震や風水害など災害に強い街づくりの推進

ICT を利活用した災害に備えた地域課題の解決により、災害に負けない、強靱で安全な街づくりの実現に向け取り組む。

⇒セミナー、勉強会、視察研修会、連携支援事業の継続

(3) 産業や地域を支える「ひとづくり」

指針①：企業等における ICT 利活用のための人材の育成

ICT の効果的な導入・利活用、データの利活用に必要な知識・ノウハウの習得により、企業等の活動のための人材の育成に取り組む。

⇒人材育成講座、勉強会、連携支援事業の充実

指針②：働き方改革に対応した社会への適応のための人材の育成

ICT を利活用したモバイルワークや在宅勤務などワークスタイル変革に対応した社会への適応のための人材の育成に取り組む。

⇒人材育成講座、勉強会、視察研修会、連携支援事業の充実

指針③：サイバーセキュリティの確保を担う人材の育成

ますます増大するサイバー空間におけるセキュリティ脅威へ対応したセキュリティ確保を担う人材の育成に取り組む。

⇒セミナー、勉強会、連携支援事業の継続

(4) 会員へのインセンティブ向上

指針①：会員の気づき及び交流の場の提供のための活動の充実

ICTに関する最新情報・先進事例の提供、会員相互のディスカッション、会員間・他地域との交流、人脈づくりなど気づき及び交流の場の提供のための活動の充実に取り組む。

⇒セミナー、勉強会、連携支援事業の充実

指針②：会員の自発的な活動への支援

会員の抱える ICT を利活用した課題解決や新たなビジネス機会の創出、会員の得意分野を活かしビジネスチャンスに結びつけるなど会員又は会員相互が自発的に実施する活動への支援に取り組む。

⇒連携支援事業の充実

指針③：国、自治体及び団体等との連携

本指針に関連して、省庁、県、大学及び団体等との共通テーマ等について、共催等により連携して取り組む。

⇒セミナー、勉強会、連携支援事業の充実